

第6日

令和7年9月8日（月）

午後2時45分再開

○議長（小島清人君） 休憩前に引き続き会議を開き、一般質問を続行いたします。

次に、8番熊本正博議員の質問を許可します。8番熊本正博議員。

（8番熊本正博君登壇）

○8番（熊本正博君） 皆さん、こんにちは。今日のトリをさせていただきます8番熊本正博でございます。本日、傍聴にお見えになった皆さん、それからインターネットで傍聴をされている皆さん、お忙しい中、誠にありがとうございます。

さて、今回、今こういうふうに壇上で説明をさせていただいておりますが、ちょっとA Iの話をしていただきたいと思いますのですが、今、この議会でもA Iがこういう議事録を取っておるですたいね、とにかく議事録を取っておるのですが、自動翻訳ということでA Iが取っておりますが、今、私が話しているときも取っていると思うのですが、今日話したら、もう明日にはこの話が、議事録ができて、はいといって今は渡せる、取りあえずはもらえるということになっておりますが、これ、私が6月議会でしたときのA Iを見ますと、中を読むと、途中で分からんとですよ、書いちょるとが、何ち書いちゃるか。何でこげん、何なこれはっち、こげなこと言うちょっちゃろかつち思ったら、私の方言がえらい激しいもんで、A Iが理解をしきちょらんとですよ。何か変、何とか何とかかつち、自分がぼってんとか、ひげんとか、そげな言葉をよく使うので、今日も使わせていただきたいと思いますっておりますが、そういう方言を使うもので、A Iが理解をしきちょらんという、こう見よって、自分で見て恥ずかしいというか、おかしいというか、そういうことがございました。私も方言が激しいのですけど、今日もされた議員の中にも、方言がすばらしく入っている議員がおらあ、ほとんど方言じゃないかというぐらい、何なとか、そうながとかいうようなことがありますが、その方の議員の一般質問のA Iの翻訳を見たことはないのですが、やっぱりひどいんじゃないかなと、訳しちょらんとやないかなと思って、本当にA Iがかわいそうでたまりません。私も同じようなことでございます。しかし、A IがよくNHKやらのニュースやらでから、放送をしようところがあるですたいね。あれを見ますと、私は何とかで、うん、おじいさんがあははっち、抑揚がないというか、言葉、感情がないというか、しゃべり方が、Y o u T u b eやら見ますと、何なので、私はこうやってテロップの中で、途中読みよったら、音読みと訓読みがもう違って、漢字まで違ってくるような、そんな何か違うちょるやんと言いながら、そのまま読まれているA Iのことがよく聞かれますけど、感情が入ちょらんというようなことでございますが、今日、私、一般質問を今からさせていただくわけでございますが、私は感情を入れて、心を込めて今日の一般質問をさせていただきたいと思っております。執行部の皆様におかれましては、明快な回答をよろしくお願いいたします。

それでは、一般質問の質問席のほうに帰りまして、ただいまより一般質問をさせていただきます。よろしくお願いします。

(8番熊本正博君降壇)

○議長(小島清人君) 8番熊本正博議員。

○8番(熊本正博君) それでは、通告書に従い、一般質問をさせていただきます。

最初に、小規模校振興プロジェクトについてです。

小規模校への通学について。

この質問は、6月の定例議会一般質問を予定しておりましたが、時間が足りなくなりました。今回、9月定例議会に持ち越しをさせていただきました案件です。教育委員会の皆様には、その節は大変御迷惑をおかけしました。

それでは、質問をいたします。教育委員会は、令和7年度から令和9年度の3年間のモデル事業として、小規模校への通学が可能になる小規模振興プロジェクトが始まりました。募集については、初年度は令和6年10月1日から令和6年10月31日までの1か月間の期間で募集をし、12月に結果を通知するという形で行われております。内容は、市内小学校の児童生徒数の均衡を図るため、部分的な学校選択制度を行っております。対象となる小規模校は、秋月小、蜷城小、秋月中学校で、大規模校は、立石小、甘木中学校です。例えば、立石小学校区在住の方は、立石小学校はもちろん、蜷城小学校、秋月小学校への通学が可能となります。また、甘木中学校区在住の方は、甘木中学校はもちろん、秋月中学校への通学が可能となります。

そこでお尋ねをいたします。説明会が令和6年の10月3日にピーポートであったと聞いておりますが、何人説明会にお見えになったのか教えてください。

○議長(小島清人君) 教育部長。

○教育部長(草場 勉君) 小規模校振興プロジェクト、以下、プロジェクトと称させていただきます。この取組につきましては、まず、令和6年7月から8月にかけて、立石地区、甘木地区、秋月地区、蜷城地区のコミュニティやPTA役員会等に出向き、説明を行ったところでございます。その後、議員言われますとおり、10月3日にピーポート甘木の学習室で保護者向け説明会を開催しております。この説明会の参加者は2名でございました。説明会では、プロジェクトの内容説明を行った後、小規模校の校長先生に直接保護者が相談できる機会を設け、小規模校の魅力や普段の学校の様子を理解していただけるよう努めたところでございます。このほか、別の日に個別に2名の方から相談がございまして、合計4名が関心を示していただきました。結果的に、1名がこのプロジェクトで小規模校へ入学されております。以上です。

○議長(小島清人君) 8番熊本議員。

○8番(熊本正博君) では、説明に来られた方から何か質問や意見はありませんでしたか。お伺いします。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 小規模校の普段の学校生活、体験活動の様子に関する質問が多く出まして、子どもがうまく学校生活を送れるか確認をされておりました。このほか、交通支援はあるのか、兄弟も一緒に入学できるのかといった制度の内容に関する質問がございました。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） では、今言いました兄弟も一緒に入学ができるのかについて回答をお願いいたします。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） このプロジェクトでは、兄弟のいずれかが小学校入学時、または4年生の進級時に希望をすれば、その兄弟は学年を問わず一緒に通うことが可能としております。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 一緒に行かれるんですね。分かりました。

これは、私の思いでございますが、こういうのはいかがでしょうか、どうでしょうか。今は、生い立つ保育園が、えらい保育所の入園を希望される保護者が多いと聞いております。そこで、希望ができなかった立石在住の方がおられたとしたら、安川保育所とか、蜷城保育所に預けていただき、そのまま秋月小学校、蜷城小学校へ入学をしていただく。そうすれば、保育園でなじみのある友達と一緒にすんなりと学校生活を送ることができるのではないやろうかと思っております。あくまでも選ぶのは本人ないし保護者であります。そういった優先的に入園、入学できるような仕組みづくりは効果的だと思いますが、どうでしょうか。お伺いします。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 保育所につきましては、保護者の意向で決定をしておるということから、保育所を限定して進めることは難しいというふうに考えております。

しかしながら、議員の御提案を受けまして、立石校区在住で安川保育所と蜷城保育所に通っている子どもは一定数いますので、その保護者にプロジェクトについてのPRをしていくことは検討したいというふうに考えております。

また、保育所等の入所募集を行う際にチラシを配布するなど、工夫しながらPRをしていきたいというふうに思います。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 部長、ぜひPRをしていただきまして、工夫をしていただきたいと思います。お願いをいたします。

次に話は変わりますが、ある民間企業のホームページに掲載をされていますが、令和7年の7月、全国で7,199校ある中で、おすすめ中学校ランキング、何と朝倉市立秋月中

学校が20位にランキングをしております。これはすごいことじゃないやろうかと私は思います。福岡県ではもちろん一番ですが、続いて24位に太宰府市立学業院中学校が入っております。こんなすばらしいことを教育委員会は御存じでしょうか。私なりに、なぜこの秋月中学校は人気があるのか調べましたが、秋月中学校に行ったら、周りの環境、まずすばらしいですね、もう行って、ここで自分も勉強したいなと、そういうような気になりますし、また森林やらも多くて、静かで非常に環境がよい、そういうことを感じました。そしてまた、水がおいしい、空気がおいしいということは、この秋月中学校がすごいのなら、秋月小学校も蜷城小学校もアピールすべき小学校じゃないでしょうか。立石小学校区在住の皆さんにアピールをすべきではないでしょうか。いえ、それ以外の市外の皆さんにも、こういう秋月中学校はすばらしいところですよというようにことを知っていただきたいです。そんなすばらしい中学校なら、私たちも秋月中学校に3年間でも預けようかな、私たちは、こっちは朝倉市に住んで、秋月に住んで預けようかなというような家族ももしかしたら出てくるんじゃないかなと、そういうふうに思っているところでございます。

またこれ、話を変えますが、あれは5月頃でしたか、令和7年度朝倉市教育施策要綱を頂きました。3ページに、主な事業、小規模校振興プロジェクトと書いただけの何の説明もありません。これでは具体的な内容が全然分らないです。3年間のプロジェクトとして実施するものであれば、もっと工夫して、積極的なPRが必要ではないのでしょうか。お尋ねをいたします。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 小規模校各学校におきましては、それぞれの地域の自然、歴史や伝統を生かして教育を行っております。特徴的なものとして、秋月中学校では、秋月黒田藩藩校、稽古館の教えを取り入れた教育をしております。秋月小学校では、小学校1年生から英語に対する興味関心を高める教育をしております。蜷城小学校では、少年赤十字団を結成し、人道、博愛精神に基づく教育など、小規模校ならではの教育や活動を行っております。それらの教育につきまして、広報あさくら、本年の8月号、9月号におきまして、これらの小規模校の魅力や特徴を紹介し、PRを行ったところでございます。今後も工夫をいたしまして、多くの場面で、あらゆる媒体を利用いたしまして、積極的にPR活動をしていきたいというふうに考えております。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 部長、今言われたようなことをどんどんやっていただいて、朝倉市のよいところ、秋月中学校のよいところをどんどんPRをしていただきたいと、そういうふうに思っております。積極的なPRについては、工夫して取り組んでいただきたいと思います。

小規模校振興プロジェクトは、すばらしい企画だと考えております。しかし、通学支援がないと聞いたときは、これは、というところがありました。誰んこれは小規模校には行

かんばいなというような思いがございまして、やっぱり通学支援や周知の方法を整理してプロジェクトを立ち上げ、実施するべきではなかったのかなと今思っちゃいます。

そこで早野教育長にお尋ねをいたします。プロジェクトの抱える最も大きな課題は何と考えておられるのかお伺いいたします。

○議長（小島清人君） 教育長。

○教育長（早野展生君） 令和7年3月議会においても答弁をさせていただきましたが、令和6年度、昨年度の取組を通しまして、小規模校に魅力を感じて通学したいという子どもさんたちが一定数おられるということが分かりました。そして、通学支援がないために小規模校への就学を断念した方もおられました。現在まで通学支援が大きな課題であると認識をして、検討を重ねてまいりました。交通費のほか、小規模校に通うことで負担増となる内容について検討を重ねまして、小規模校就学支援費としまして、9月補正に計上をいたしました。まずは、小規模校に通う保護者負担を軽減したいと考えております。そして、まもなく10月から令和8年度の募集を開始いたします。保護者負担を軽減することで、プロジェクトの事業効果を高め、小規模校に通う児童生徒が1人でも増えるよう頑張っておりたいと考えております。

それと併せまして、秋月小中学校、そして蜷城小学校が学校の教育課程や学校行事、さらには校区の歴史や特色を整理をいたしまして、その魅力を広く朝倉市民等に伝えることができるように、学校ホームページの作成にもこの3校とも着手をしてあると聞いているところでございます。以上でございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、教育長のお話を聞きますと、通学支援の課題は、たしか6月のときにはまだその答えは見えておりませんでした。今回、この9月議会で一般質問をさせていただいたら大きく変わりました。今、教育長申されました小規模校就学支援費を計上されたということでございます。私が先ほど、これは駄目だと言わせていただきましたが、訂正をさせていただきます。本当ありがとうございます。早野教育長には、ぜひこのプロジェクトを成功させていただきたいと思います。今の回答を含め、通学可能な家族の方々に十分に小規模校への理解ができ、本年の10月には明確な説明会、そして小規模校への通学者が増えますことを祈っております。ありがとうございます。

続きまして、庁舎移転後の旧庁舎周辺の課題。

甘木中学校の自転車通学路についてでございます。

現在の庁舎は、昭和48年、甘木市役所として、今の朝倉商工会議所より現在の庁舎、ここに移転をしております。そして、その7年後、昭和55年に甘木中学校が立石の一本より甘木公園横の堤に移転をしております。なぜ甘木中学校が今のところに建設されたのか経緯を教えてください。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 昭和53年第6回甘木市議会一般質問の会議録を確認いたしました。一木地区にあります旧甘木中学校の敷地の一部が、都市計画道路東田柿原線、これは県道馬田頓田線となりますが、この計画地となり、移転せざるを得なかったことが移転の理由とのことでした。また、当時の甘木中学校の生徒数は約980人で、南陵中学校の前身である福城中学校の生徒は約250人であったことから、甘木中学校の移転を機会に適正規模の学校を建設すべく、移転と併せて通学地域の再編成が行われたということでした。

議員が質問されています、なぜ甘木中学校が現在の場所に建設されたのかにつきまして、資料を探したり、甘木中学校関係者に聞き取りをしたりしましたが、明確な理由を確認することはできませんでした。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今言う経緯は分からないということでありました。私も調べてみました。それで、なぜあそこに来たかというのですが、前、丸山団地、まだできる前、あそこは田んぼやらだったんですけど、そこを埋立てをせないかんと、丸山団地を造るために埋立てをせないかんとということで、今の甘木中学校ですね、この山を切り開いて、その土砂を丸山団地に入れたということがありまして、それだけじゃなくて、大分自動車道、これがちょうど計画中だったので、その土と一緒に、あそこということで自動車道のほうに、この中学校跡地、広場が大きくなっており、中学校の施設の土砂をのかして、高速道路のほうに盛土として運んだ経緯があるようでございます。それで、そこが今度は広い広場になりましたので、私はこれ分かりませんが、なら、ここ中学校を持ってきたらええやんの、甘木市役所もあるけんてかなとかいう、これも私の思いでどうしてできたかなということは分かりませんが、そういうことなどがあって、とにかく甘木中学校が今の場所にできたのかなと思っております。

それで私、今、質問が、なぜここにということを行いましたけど、これ質問を変えさせていただいて、今の甘木中学校が建設されたことをどう思っておるかということでお尋ねをいたします。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 中学校の近くに市役所があることで、安心感を持っていたという甘木中学校関係者の方が多いのではないかと感じているところでございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 部長、そげんでしょうが、私もそげん思いよりも。もう安心して中学校をあそこに持っていったらよかったということになったのやろうっち、そう思っております。今言われたとおり、部長も言われたとおり、朝倉市役所は、今は朝倉市役所と言いますが、お守りみたいな感じだったのではないかな、甘木中学校にとっては。この朝倉市役所があることがお守りになっていたのではないかなと今思っているところでござ

ざいます。

次に、令和8年1月5日より、朝倉市役所新庁舎が本町に移転されることが決定しております。このことによって、特に影響を受けるのが甘木中学校ではないかと思っております。

現在、自転車通学をしている生徒が500人ほどおると聞いております。これは今、自転車通学はクラブをする人とか、自転車で行きたいという方は乗っていったいいいというようなことをお聞きしましたので、やっぱりこんなに500人も自転車通学してある方があるのかなということで、人数を500人と聞き及んだところでございます。現在は、甘木公園の東側の入り口から多目的広場の坂道まで自転車を降りて、押して、そして学校まで通っております。

しかし、来年1月からは市役所が移転することで状況は変わります。甘木中学校周辺でたくさん見受けられていた人が減少というか、全くいなくなる。例えば、本庁舎勤務する450人ぐらい、今、本庁舎に勤務する方がおられるそうです。その結果的に、生徒の安全・安心な下校を見守っていた状況であったと思います。この数の人たちがおるということで、不審者を抑止することにつながっていたのではないかなと思っております。その人たちが全くいなくなる。これ幸いに不審者が現れるのでは、仮に襲われたとしたとき、子どもが助けてと叫んでも誰もいません。これはぞっとするような話でございます。怖いです。心配をします。特に、部活動終了後の日が落ちる時間帯に帰宅する生徒や、地域クラブ活動を行って夜の8時半過ぎに帰宅する生徒にとっては、不審者による被害の可能性は高まると予測がされます。

庁舎移転が決まったとき、真っ先に周辺住民や子どもを持つ保護者の方々が言った第一声が、甘木中学校がどうなると、不審者が増えるんじゃないかとねという方々がたくさんその当時おられました。自分も、おお、そうやねとやっぱり思いました。これまでもこの件に関する安全確保につきましては、甘木中学校の校長を通じて教育委員会に要望を伝えていると聞いていますが、十分な回答は得られていない状況だそうです。だから私が一般質問を今させていただいております。

そこでお尋ねします。朝倉市役所移転による甘木中学校の生徒の通学について、今までどおりでいいですよというのか、それともちゃんと対策はありますよというのか、朝倉市はどう考えておられるのか教えてください。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 庁舎移転によりまして、周辺の人通りが減少し、これまでの見守り環境が低下するということが懸念されるというふうに思っております。これは、庁舎移転に伴います通学環境の変化に対応する課題でございまして、市としても庁舎跡地活用の一環として、通学路の安全対策について真摯に検討すべき事項というふうに考えております。特に、夕方以降の下校時における安全性が指摘されておまして、不安を解消

するために防犯・安全対策が必要であるというふうに考えております。以上でございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 分かりました。私も生徒が通っている現地を夜、確認に行きました。やはり不審者が隠れそうな場所がたくさんあって、いつ襲われてもという感じを受けました。暗くなって、街灯が7本、甘木中学校の正門から市役所の手前まで7本ぐらいついておりますが、大体50メートルに1か所ぐらいついております。ついてはいるんですけど、街灯というのは20メートルぐらいしか明るく照らさんもんで、そのまた20メートルを照らしたら、その間の30メートル間は真っ暗でございました。そこらに隠れちゃったら、自転車で帰るとで出てこられたら、やっぱりこれはびっくりするですね。やっぱり怖いなというようなことを感じたところでございます。今、私が質問したら、そんなら街灯をいっぱいつけりゃよかろうもんち、今、この中で思われた方がおるかもしれませんが、街灯がまずずっと10メートルに1か所についたとします。ついたところで誰もいないんだから、助けてと言っても、明るいと明るいですけど、そこで助けてやる方はいないというような感じで、やはりあそこの道は危険な道だなということで感じております。

そこで、甘木中学校の後援会やPTA、それから甘木中学校より、自転車通学の生徒の動線を変更することで、生徒の安全・安心を確保する観点から、甘木中学校の正門より甘木球場の学校の側面、斜面を利用して、階段の下の通路へ自転車道を設置してほしいと要望がっております。以前、階段の下にあった、前はあそこに駐輪場が下にありましたもんね。あったけど、それがやっぱり目が通されんとか何とかということで、今、甘木中学校の駐輪場は中学校内に上がっておりますが、そのときもやっぱりこの道を造ってくれとか、やっぱり向こうの道は危険なんで造ってくださいというようなことで、いろいろ議会一般質問が、これ何年、もう大分前だったと思うんですがされております、経緯があります。しかし、議員が一般質問されておりますけれど、やっぱりそのときはどうじゃこうじゃで終わっているようでございます。今回は庁舎移転対策として、重要な課題として受け止めていただきたいと思います。

そこで、このことについて朝倉市はどのように考えておられますか。お伺いします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 先ほど議員のほうよりおっしゃいましたように、甘木中学校後援会、それからPTAより、生徒の安全確保のために甘木球場の学校側斜面に自転車通行用スロープの設置を求める要望書が提出をされております。市としましては、甘木中学校関係者の思いを踏まえまして、生徒の下校時の現状と課題を的確に分析しまして、最も生徒たちにとって効果的となるよう対応策を検討しているところでございます。要望書に記載のございました中学校正門南側斜面の坂路整備についても、これまで検討してきたところでございます。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、部長が、中学校正門南側斜面の坂路整備についても検討がされたということですが、事業費等についても試算がされているのですか。私が耳にするところでは、1億円を超える事業費とも聞き及んでおります。概算事業費及び試算内容の検討についてお話しできれば、お尋ねしたいと思います。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 甘木中学校正門南側斜面の自転車通行用の坂路整備の概算事業費につきましては、測量設計業務等も含めまして、概算事業費1億1,000万円程度を想定しておるところでございます。

現地の地形は約10メートルの高低差がございまして、甘木球場に隣接する土地でもあります。樹木が生い茂っている状況というふうにもなっております。

試算内容につきましては、中学校正門南側の階段下付近から西方向に坂路を整備するものでございまして、整備延長は約110メートル、通路幅員3.0メートル、坂路の勾配は約8.5%から10%の自転車歩行者専用通路で、通路両側には土留めの擁壁、南側には転落防止柵等を設置することを想定して、算定をしております。

その他、附帯工事としましては、樹木伐採が約2,000平方メートル、樹木は幹回りが50センチから80センチ程度の樹木が約250本、甘木球場防球ネットを球場レフト側から現在設置しておりますライト側まで約110メートル増設しまして、坂路部の防犯灯5基から6基を設置する整備内容を想定して、概算事業費の算定を行ったところでございます。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 内容は分かりました。今言われた中で、市営球場の防球ネットが必要なんですかと言いたいです。球場の右翼、右側は、ライト側は、球場の長さが取れていない、だから入りやすい。また、よく左バッターの方がホームランを打たれて、丸山団地のほうに入っていったのを私も確認しておりましたが、それを謝りにいったりとか、ボールをもらいにいったりとかしよりましたから、やはりあれは高くしてやらないかなということで、全部右側のライト側が、防球ネットは作りました。しかし、こっちのセンター側も取れているんですよ、長さがですね。私がずっと野球やらしよったときに、ホームランはもう本当に見たことがないぐらい、飛んでもそばぐらいに打てるぐらいで、フェンスのそばに落ちるようなのを見たことがありますが、それを110メートル、この防球ネットを作るといようなことが本当に必要なのかと。今ここで話してもそれはもうあれやけんで、そこ辺はまた言わないかとけど、今そう言われたんで、ちょっとそう思いましたから、話をさせていただきましたけど、ほかのところについては、部長が言われたとおり、やっぱり3メートルぐらい取らんと、街灯やらをつけたり、防護柵やらをつけたりせないかんけん、やっぱりこれは、本当は自転車というのは1.5メートル幅あればということで、道路構造令ではそういうふうになっていますけど、やっぱり坂道とかもあり3メー

ターぐらい造らんと、要は足さんというようなことで、私もそこは同じ意見であります。しかし、今、ここはお金が幾らかかった、1億幾らかかったとか、そんな事業費がかかるのですかといって、それじゃ、そりゃえらいかかるけんで、そりゃ無理やろうなとかというわけにはいかんわけです。どうやったらできるのか、もっとそういった視点で考えていただきたいと、そのように思います。これは金だけの問題ではないと私は思っております。

次に、甘木中学校の生徒の通学路の防犯における安全対策の考え方について教えてください。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） これまで検討する中で、やはり甘木中学校生徒の地域クラブの利用状況について確認をいたしました。そうしたところ、これは今年度の5月時点での状況でございますけれども、午後8時以降に自転車等で帰宅している生徒が39人であり、そのうち28人の生徒は甘木体育センターを利用しているという状況でございました。

このような下校実態を踏まえまして、現通学路の街路灯の増設、それから防犯カメラの設置、自転車通行帯の設置、樹木剪定等により、特に日没以降に帰宅する生徒への通学路の防犯・安全対策を図ることが最も効果的ではないかというふうに考えているところでございます。

なお、甘木中学校正門南側の斜面を利用した坂路整備による通学路の変更等につきましては、引き続き、生徒の帰宅実態等も踏まえて協議をしてみたいというふうに思っているところでございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、部長言われました中で、体育館のところが、29の方が体育館から出よるということやけども、体育館から出る前から市役所までもやっぱり暗いでもんね。街灯は2本ぐらいしかそこ辺ではついておりませんので、上じゃなくて下だと言いながらも、やはり危険なところではあると私は思っております。

次に、通学路工事、今言う自転車道を造ろうと、工事をしようとしていますが、これについては国庫補助とか県補助とか、そういう補助はないのでしょうか。

○議長（小島清人君） 教育部長。

○教育部長（草場 勉君） 県等に確認をしたところ、対象となる補助事業についてはございませんでした。また、起債対象事業にも現在のところ該当しないということで、全て一般財源で対応しなければならないということになっております。以上です。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、いろいろやり取りしましたが、今ここで、この議会で、それこそどうじゃこうじゃ言ってやっても同じなんで、今後は甘木中学校後援会、PTAと朝倉市で十分協議の場をつくっていただいて、そして納得のいく最善策を考えていただきたいと思います。新庁舎の移転が決まった時点で、甘木中学校の通学問題は、これはも

う予測されちゃったことだと思います。今さら事業費が1億円かかりますとか言われても、甘木中学校をここに持ってきたのは行政であります。最後まで面倒を見ていただきたいと思っております。どのような結果になるかは分かりませんが、議員にこの結果は報告をしていただきたいと思っております。

次に、市庁舎跡地周辺の施設整備についてです。

現在、朝倉市庁舎跡地活用検討委員会が令和6年8月8日発足しました。令和7年8月12日、5回目の会議が行われております。地元議員は検討委員会には入っておりません。まだ詳しい説明も聞いてはおりませんので、この一般質問でお聞きしたいと思い、意見や質問をさせていただきます。

まず、朝倉市庁舎跡地等活用検討委員会での現在の検討状況についてお伺いいたします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 庁舎跡地等活用検討委員会につきましては、昨年8月より先月まで計5回の委員会を開催しまして、市民アンケートや市場調査等の調査結果を報告しまして、庁舎移転後の現庁舎周辺の課題等についてこれまで議論をしていただきました。

委員会では、地域の課題や市民ニーズを丁寧に掘り下げていただき、多様な視点から御意見をいただき、会議を進めてまいりましたが、庁舎跡地の活用について、市が独立行政法人水資源機構の管理事務所の移転適地として、庁舎北側の別館及び駐車場を含む敷地約4,000平米の跡地面積について協議を進めることといたしました。このようなことから、跡地の残地面積約2,000平米の土地活用では、基本構想は策定できないというこの委員会の判断の下、残地の活用については市のほうで検討することとし、委員会としての整備方針を変更せざるを得なくなりました。この委員会での意見等を取りまとめ、庁舎跡地活用の提言者として、市へ、先月29日に市長のほうへ提出されたものでございます。

なお、この提言書では、市民の声と地域の実態を踏まえたまちづくりの方向性が示されておりまして、市が持続可能で魅力ある都市として発展するために、段階的かつ柔軟な整備に取り組むことを求められております。以上でございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） 今、庁舎跡地6,000平米のうち4,000平米については、独立行政法人水資源機構と協議中だと聞きました。庁舎解体後の2,000平米についての活用法は、検討中ということでございました。

今から述べる意見は、庁舎跡地と体育館や市営球場、多目的広場を一体として計画する話であります。これはあくまで私の思いであります。3項目ありまして、1点目が、皆さん御存じだと思いますけど、平成29年の災害を教訓に、災害救助援助隊の活動拠点として甘木公園が利用されております。また、独立行政法人水資源機構が現庁舎跡地に施設を構えるのならば、朝倉市と水資源機構が連携して、今後、筑後川水系河川管理や朝倉市の治水

機能を考えたとき、免震構造の新庁舎を防災拠点とするならば、活動部隊の拠点を現庁舎跡地、市営球場、多目的広場、体育センター等、防災備蓄庫を備えた防災施設の整備をお願いしたいと思います。朝倉市の御意見をお伺いします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 現庁舎敷地でございますが、ここは甘木公園に近接した高台に位置しておりまして、非常時の安全性やアクセス性からも、防災機能を持つ施設整備エリアとしては大変重要な地域であるというふうに考えております。

また、庁舎跡地等活用検討委員会からの提言書では、災害時の避難所機能を持つ体育館や備蓄倉庫の整備が有効ではないかとの意見が多く出されました。

市は、独立行政法人水資源機構と管理事務所の移転適地として協議を進めていることもありまして、地域の安全・安心を支える重要な地域として捉え、一つの庁舎跡地の利活用の方針として検討を進めているところでございます。

○議長（小島清人君） 8 番熊本議員。

○8 番（熊本正博君） 分かりました。2 番については、ちょっと時間の関係で外させていただきますと思います。

3 番に入ります。第3次朝倉市健康増進計画に基づき、久留米大学と連携して、アンチエイジング、加齢に伴う心身の機能改善の健康教育の取組とあります。この健康教育の場所として、現在建っている市役所解体跡地に、また心身の機能回復の場所として、甘木公園が一番の適地ではないかと思っております。現に、公園の池の周りに、令和5年に健康遊具が11基備え付けてあります。高齢化社会に適した健康増進施設の充実整備を図っていただき、いえ、若者や子どもたちにも利用していただきたいと思っております。健康都市朝倉として、高齢化社会に対する健康施設の整備と拠点づくりを願うものであります。これにつきましても意見をお聞かせください。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 甘木公園では、これまでも健康増進に寄与する取組といたしまして、沿道にはゴムチップ舗装を施し、歩行、ジョギングや軽運動に適した環境整備を進めてまいりました。また、令和4年、5年度には、健康遊具の更新を行うなど、市民の健康維持を支援しているところでございます。

また、庁舎跡地活用検討委員会からの提言書でも、甘木公園を活用した高齢者向け運動施設や観光案内所などを併せ持つ施設整備が望まれております。甘木公園を健康づくりの象徴的なエリアとして位置づけまして、地域交流と予防医療を融合した新たな取組は、健康増進施策の参考となる一つのアイデアであるというふうに考えているところでございます。以上です。

○議長（小島清人君） 8 番熊本議員。

○8 番（熊本正博君） 甘木公園は昔から比べますと、健康維持のために多くの人が利用

するようになっております。健康公園として整備をしていただきたいと思います。

最後に、林市長の3月議会施政方針で、令和7年は市長就任8年目で、総仕上げの年と位置づけられております。6つの基本目標が示されていますが、現庁舎跡地及び甘木公園周辺施設についていかように考えてあるのか、また先ほど1項目外しましたが、2項目について、林市長の建設的な考えをお伺いしたいと思います。

○議長（小島清人君） 市長。

○市長（林 裕二君） 現在、朝倉市の行政推進に当たりましては、6項目の目標を立てて、今やらせていただいている次第でございます。その中で、今日お話しになりました安全・安心なまちづくり及び健やかに笑顔あふれるまちづくり、このことについて、庁舎跡地、それから甘木公園、それから先ほどは中学生の安全確認とか、そういったことも含めて、全体的な在り方について熱心な御意見、御提言等をいただいたところでございます。

今後につきましては、現庁舎跡地は甘木公園とともに親しみのある場所でございます。跡地活用につきましては、庁舎跡地等活用検討委員会からの提言書などを有効に活用させていただきたいと思います。また、本日の議員の一連のお話も含めまして、十分に検討いたしまして、安全な中学生の登下校、特に下校、そしてまた健康づくりの拠点としてこれまで整備を行ってまいりました甘木公園、そしてこれを基にした交流の場づくりといったことをさらにしっかりと踏まえて、今後、甘木のまちの、あるいは朝倉市の現在の多くの人が集まる場所でありますので、活性化に向けて検討をしていくということで望ませていただきたいというふうに思います。ありがとうございます。

○議長（小島清人君） 8番熊本議員。

○8番（熊本正博君） よろしく市長、お願いしたいと思います。甘木公園周辺は、甘木中学校、体育館、そして市営球場、多目的広場、武道館、そして現庁舎跡地などがありまして、市民のよりどころでございます、シンボルでございます。ぜひ実現に向けて有効に活用をしていただきたいと思います。市長、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

これをもちまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（小島清人君） 8番熊本正博議員の質問は終わりました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は9日午前10時から行い、一般質問を続行いたします。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午後3時42分散会